

結 核 発 生 届

記入例

報告年月日 平成 28 年 7 月 25 日

この届出は診断後直ちに行ってください

沖縄県知事 } 殿
那覇市長

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第6項において準用する場合を含む）の規程により、以下のとおり届け出る。

医師の氏名 那覇 太郎

那覇印

（署名又は記名押印のこと）

従事する病院（科）・診療所の名称 那覇市役所附属病院

上記病院・診療所の所在地（※） 那覇市泉崎1-1-1

電話番号（※） 098-853-7972

（※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載）

那覇市役所
附属病院印

1 診断（検案）した者（死体）の類型					
① 患者（確定例） ② 無症状病原体保有者（潜在性結核感染症） ③ 疑似症患者 ④ 感染症死亡者の死体 ⑤ 感染症死亡疑い者の死体					
2 当該者氏名（ふりがな）	3 性別	4 生年月日	5 診断時の年齢（0歳は月齢）	6 当該者職業（具体的に）	
（ なは はなこ ） 那覇 花子	男 女	S5年 7月 8日	86 歳（ ヶ月 ）	無職	
7 当該者住所 那覇市与儀1-3-21 電話（098）823-0123					
8 当該者所在地 電話（ ） —					
9 保護者氏名		10 保護者住所（9、10は患者が未成年の場合のみ記入） 電話（ ） —			

病 型		18 感染原因・感染経路・感染地域	
(1) 肺結核 (2) その他の結核（ ）		① 感染原因・感染経路（確定 推定） 1 飛沫核・飛沫感染（感染源の種類・状況） 再燃 2 その他（ ）	
11 症状 せき たん 発熱 胸痛 呼吸困難 ・その他（ ） ・なし			
12 遺伝子・病原体の検出 1) 塗抹検査（— ± 1 2+ 3+ ）又はG 号相当 採取日：H28年 7月 23日 検体（喀痰）その他（ ） 2) 培養検査 — + （ 個 ） 検査中 採取日：H28年 7月 23日 検体（喀痰）その他（ ） 3) 核酸増幅法 — + 未実施 検査中 採取日：H28年 7月 23日 検体（喀痰）その他（ ）	② 感染地域（確定 推定） 1 日本国内（沖縄県 那覇市） 2 国外（国名： ） 詳細地域：		
4 病理検査における特異的所見の確認 検体： 所見：	19 その他感染症の蔓延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項		
5 ツベルクリン反応検査（判定日： 年 月 日） — × （ × ） （ ）（二重発赤・水疱・壊死） ×	3年前より特別養護老人ホームに入所していた患者。 7/23発熱・咳嗽を主訴に病院受診。胸写上、右上葉に浸潤影あり。7/25喀痰塗抹検査にて(2+)判明し、同日沖縄病院へ転院となる。		
6 リンパ球の菌特異蛋白刺激による放出インターフェロンγ 試験 （ QFT ・ T-SPOT ） 月 日実施（陽性・判定保留・陰性）	発生届報告年月日と診断年月日は同じ日付になるように記入をお願いします。		
7 画像検査による所見の確認 X線・CT・その他（ ）  撮影年月日：H28年 7月 23日 右上葉に浸潤影あり。			
8 胸水ADA等、その他の方法（ ） 検体（ ） 結果（ ）			
9 臨床決定（ ）			
13 初診年月日 平成 28 年 7 月 23 日			
14 診断（検案※）年月日 平成 28 年 7 月 25 日			
15 感染したと推定される年月日 平成 年 月 日			
16 発病年月日（*） 平成 年 月 日			
17 死亡年月日（※） 平成 年 月 日			

（1,3,11,12,18欄は、該当する番号等を○で囲み、4,5,13,から17欄は年齢、年月日を記入すること。
（※）欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。
（*）欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。
11,12欄は、該当するものすべてを記載すること。）